

取組事例
施策 3

物流生産性向上のための 道路ネットワークの構築



取組事例① 企業活動を支える物流基盤の整備

福山市中心部の慢性的な渋滞を緩和し、福山港や産業集積地から山陽自動車道へのアクセス性を高めることで、物流の効率化に努めます。



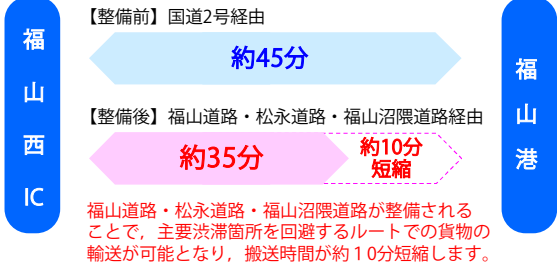
広島県に存在する89箇所の主要渋滞箇所のうち福山市には15箇所が存在し、主に福山市中心部に集中しています。福山港及び福山港周辺の産業集積地から山陽自動車道へアクセスするためには福山市中心部に集中する主要渋滞箇所を通過する必要があることから、物流の効率化や企業活動を支えるために都市部の渋滞緩和が求められています。このことから、国道2号の主要渋滞箇所を回避し、東西の連携を強化する福山道路や（主）福山沼隈線の整備を推進します。



広島県における市町別主要渋滞箇所数



道路整備による時間短縮効果



整備前の所要時間は、平成22年度道路交通センサスの平日混雑時旅行速度、その他市道は30km/hを用いて算出している。整備後の所要時間は、現状の所要時間で用いた速度のほか、福山道路70km/h、松永道路60km/h、福山沼隈道路60km/hを用いて算出している。



一般国道2号赤坂B B 東口交差点付近



一般国道2号神島橋西詰交差点付近



一般国道2号福山道路 整備イメージ



福山沼隈道路 整備イメージ

取組事例①の主な事業箇所概要

路線名	概要
(国) 2号 福山道路 (福山市瀬戸町～赤坂町)	L=3.3km(暫定2車線), 完成4車線の場合 W=14.0 (19.5～20.5) m
(主) 福山沼隈線 (福山市草戸～熊野)	L=約4.5km, W=6.5 (9.5) m (暫定2車線)

W=車道幅員 (歩道等を含む全幅員)



広島空港への定時性の確保，速達性の向上，代替性・多重性の強化に資する道路整備を推進し，空港利用者の利便性向上に努めます。

広島空港は広島市内からの利用者が約6割を占めており，広島市から広島空港へのアクセス性を向上させることで，空港利用者の利便性向上に努めます。

具体的には，広島高速5号線の整備による広島空港への速達性の向上や定時性の確保に取り組むとともに，山陽自動車道の交通渋滞や通行止めの影響を最小限に抑え，空港アクセスの代替性・多重性の強化を図るため，国道2号東広島・安芸バイパスの整備を推進します。



広島市居住者は半数以上がリムジンバスを利用



広島市内と広島空港を結ぶリムジンバス

国道2号バイパス利用により4つの主要渋滞箇所を回避



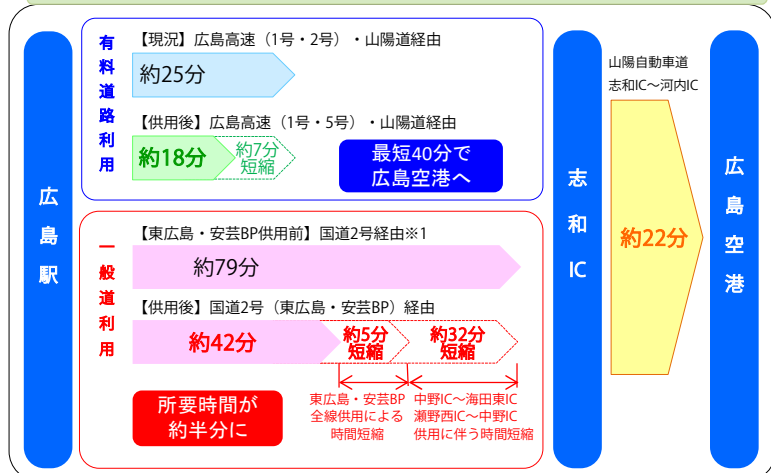
一般国道2号現道区間の渋滞状況

広島駅から空港へのアクセスが便利に

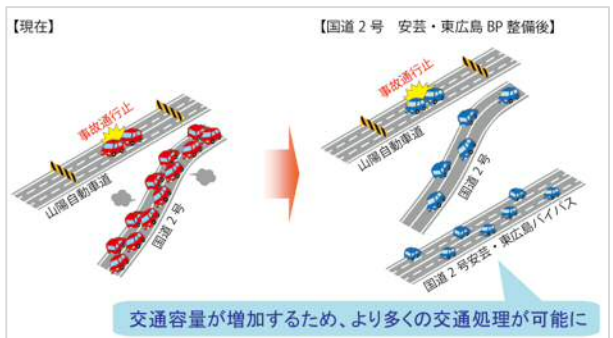


広島高速5号線パース図

道路整備による広島駅～広島空港までのアクセス時間の短縮効果



山陽自動車道通行止時の代替性・多重性の強化



取組事例②の主な事業箇所概要

W=車道幅員（歩道等を含む全幅員）

路線名	概要
広島高速5号線（広島市東区温品町～二葉の里）	L=約4.0km, W=6.5（10.5）m（暫定2車線）
（国）2号 東広島バイパス（広島市安芸区上瀬野町上瀬野～瀬野西IC），（安芸郡海田町首田～安芸郡海田町日の出町）	L=約2.5km（暫定2車線），完成4車線の場合 W=14.0（19.5～20.5）m
（国）2号 安芸バイパス（東広島市八本松町宗吉～広島市安芸区上瀬野町上瀬野）	L=約7.7km（暫定2車線），完成4車線の場合 W=14.0（19.5～20.5）m